



西尾 寿博 議員

監査のあり方は

代表
監査委員

制度と時間の制約があった



議会で調査した証憑書類

【西尾】議会は、住民の代表として、限りある予算の中、効率よく、公平・公正のもと、住民福祉の向上に貢献しなくてはならない。監査委員はチェック機能の要として重要な機関である。

今回の監査報告書は全般的に解明できないという内容であり、その場合は監査のあり方を改善する必要があるのではないか。

【代表監査委員】提出

された証憑書類しやうひんしゆりの範囲内で検査ができるものなので、監査の制度上の制約、あるいは時間の制約があった。

監査のあり方の改善については、行政側の協力あるいは財政援助団体等の協力を前提とした監査制度であるため、今回のような監査においては、例えばプロジェクトチームを組んでの対応が必要だったのではないかと考えている。

町長の出馬表明は

町長

魅力あふれる

元気な町をめざす

【西尾】町長選出馬を2月14日の新聞報道で知った。

議会軽視、町民軽視があつてはならない。議会には出馬するような意向はなかった。出馬の意欲、施策について、町民に表明されるべきだ。

【町長】めざすところは、大山のさまざまな恵み、これを生かし、若者から年配の人までみんながいつまでも暮らし続けたい、楽しさあふれる、魅力あふれる元気な町、これをめざしたい。

【西尾】今後の課題を示すことが重要では。

例えば、大山観光局、恵みの里公社、2本柱

がうまくいかない。国保については、一般財源から補てんしなければ運営できない。少子化によって学校の存在が危ういことなど。

【町長】まずしないと

いけないことが4点ある。

子育てへの支援、格好い農業の展開、町民参画、地域での見守り・支え合いである。



町長室...